

2015年度の総括

①収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	77,143	109.4	
支出	73,274	107.5	
経常収支差額	3,869	167.2	

評価： 包括は経費増(サーバー交換など)で赤字。予防は委託の増で大幅に黒字化した



② 職員配置と研修（職員数は2016年3月現在）

- ・包括支援チーム 正職員 5人(増減なし)
- ・予防支援チーム 正職員 2人(増減なし) ・事務パート1人(増減・1人退職)

③ 事業内容

総合相談対応は2月末時点で述べ6400件(昨年述べ5,748件)、実人数が740人(同728人)。継続的に関わるケースや多くの調整を要するケースが多いことがわかる。予防プラン数も増加の一途。医療と介護、他職種連携の取組み、役所内のCW、保健師との合同研修も実施できた。

④ 品質管理

これまで同様、包括事務所内での個人情報書類などのしまい忘れや放置がほとんど。外部流失はないため、各個人の情報管理の意識付けは随時行っている。

2016年度の計画

①予算案のポイント

費目	算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	77,500	➡	委託費は前年度ベースを想定。予防プランは増想定。
支出	73,261	➡	隣保館家賃192万の増を他の経費減でカバー

② 主課題

新しいモノを作るのではなく、今ある「人」「場所」「モノ」を見つけて、掛け合わせていく

③ 年間事業計画（予定）

4月16	事務所移転	年2回	役所CW/保健師との交流会
4月から	北包括版 広報誌発行(年3回)	年数回	医療と介護・認知症連携事業
6月頃	家族介護支援事業	随時	サービス事業種ごとの交流会
10月	老いと向き合う講演会		